

東淀川区西部地域バリアフリーまちづくり協議会（第 53 回部会）会議録

日 時：令和 7 年 1 月 11 日（土）午後 2 時 45 分～午後 3 時 05 分
場 所：東淀川区役所出張所 3 階多目的室

【議事】

- 1 開会
- 2 部会長挨拶
- 3 議題
 - ・ (1) 新大阪駅エリア・淡路駅エリアのまちづくりについて
 - ・ (2) 地域での活動報告及び意見交換
 - ・ (3) その他
- 4 閉会

《配付資料》

- ・ 議事次第
- ・ 第 52 回「まちづくり通信」
- ・ 【資料 1】新大阪駅エリア・淡路駅エリアのまちづくり関連資料

1. 開会

2. 部会長あいさつ

（部会長）

- ・ 本日の現場見学会で、実際に見学して、これまで見聞きしてきたことがリアルにイメージできたと思う。工事完了までまだ少し時間があるが、まちづくりを進めていくにはちょうどよい期間。
- ・ 5 月～6 月頃に、高架下の利活用事例として、京都の阪急洛西口駅を皆で見学したい。
- ・ 高架下の活用、新大阪駅～淡路～区役所方面へのまちづくり、また柴島浄水場跡地の約 12ha の開発用地のことなど、引き続き意見交換をしていきたい。

3. 議題

（1）新大阪駅エリア・淡路駅エリアのまちづくりについて

（2）地域での活動報告及び意見交換

（部会長）

- ・ 本日の配布資料は、淡路駅エリア計画の骨格に対する意見をまとめたものだが、各地域からの活動等の報告や現場見学会の感想と共に共通認識としたい。

【下新庄地域】

（部会員）

- ・ 下新庄地域では、今の会館を使わなくて済むように、下新庄駅の高架下に地域の皆が集える場所を作ってほしい、というのが大前提。これだけでもいいという位で、訴え続けていきたい。
- ・ 今年度はワークショップを継続的に開催しているが、テーマが子どもであっても高齢者でも、結局話がそこに行き着く。
- ・ その他、新幹線下の道路が、阪急の高架下を西から東へ通ると思っていたが、そうではないらしい。

（事務局）

- ・新幹線の橋脚がある。今後、高架完成後の側道の設計が進められるので、その際、詳細な検討がなされる。

【東淡路・柴島地域】

（部会員）

- ・アクションプラン作成のため、これからの地域で話し合う場を設けていく。地域の課題としては、高齢化が進んでいて子どもが少ない。また、交通アクセスが便利なので、ワンルームマンションが多い。そういったことから、住居環境として、住み続けてもらえる空間が必要だと考えている。他には、駅前の駐輪場問題や子ども達が遊べる公園が欲しいなど。

【啓発地域】

（部会員）

- ・淡路駅エリア計画の骨格について、計画調整局から説明を受けたが、今住んでいる人達が住み続けられるのかというのが一番の不安材料だった。安心して住み続けられるようなまちづくりにしてほしい。地域の意見集約は、時間がかかると思う。

（部会長）

- ・新大阪から崇禅寺駅、淡路駅にかけて、これから大きく変わっていけば、住み続けていけるのかと不安に駆られるとの話をよく聞くので、そのあたりも主たるテーマとして考えていくべき。建設的に議論していくためにも、不安を解消していくべき。
- ・ほかにも追加の意見があれば、3月の協議会でもしっかりと伝えていきたい。
- ・今年度末で淡路駅エリア計画 ver. 1 をまとめていくと聞いているが、これはあくまで素案であり、これからも地域の意見を反映すべく、議論していきたい。

（計画調整局）

- ・いくつかの地域に伺い、お話してきたが、柴島浄水場の開発用地については期待が寄せられている一方、周辺地域についてどのように変わっていくのかということに関しては、期待というよりも心配や懸念の方が大きいと感じている。このあたりをどうするか、柴島浄水場の開発と周辺地域との連携など、引き続き考えていきたい。
- ・「多世代が長く住み続けられるまち」というのがキーワードだと認識している。めざすべき姿としてエリア計画に書き込んでいきたい。

（事務局）

- ・淡路駅エリア計画の骨格について、意見集約を進め、3月で ver. 1 としてとりまとめる予定。まだ回っていない地域もあるが、2月上旬までに意見を集約し、3月の協議会の前に書面にて確認していただきたい。

（久教授）

- ・今日、阪急淡路駅の現場を見せていただき、図面ではわからないところが分かってきた。また、皆さんの意見交換を聞いていて気づいたが、下新庄駅については、密集しているあの地域にオープンスペースができる貴重な機会になる。商業施設や駐輪場だけでなく、地域に役立つものができるといい。
- ・東淡路・柴島地域は密集市街地で、子育て世代にふさわしい住宅が供給されないことが、子どもが減って

いく一つの要因となっている。例えば、生野区では密集市街地整備が進まず、結果、12 あった小学校が4つに統合されてしまった。この地域でも、子育て世代にふさわしい住宅がどれだけ供給できるかが重要であり、鉄道や道路の整備だけで終わらず、それがどのように周辺に影響を与え、土地利用や住宅の建替えにつながるのかという観点が必要。その点で、柴島浄水場も地下に水槽があったりするが、住宅供給をしていてもいいのではないかと思う。それが起爆剤となって、周辺地域に波及していくべき。このように大きくまちが変わるのは何十年に一度あるかないかなので、鉄道や道路の整備だけで終わらせないようになればよい。

- ・門真市では、ららぽーと門真の敷地の一角に魅力的な住宅（155戸のマンション「パークホームズ LaLa 門真」）を建設した。密集市街地整備に影響を与える募集の方法もあるのではないかと思う。

(部会長)

- ・「子育て」は重要なテーマだと認識している。
- ・伊丹空港の関係で高さ制限があり、新大阪でだいたい130m、うめきたでは170m、柴島で150mといった制限がある。

(4) その他

- ・本日の部会の内容は、議事録などを作成し、区のホームページにアップする。

5. 閉会

- ・次回の部会は、3月13日（木）午後7時から、東淀川区役所出張所3階多目的室で開催予定。

以上